

あ と が き

<編集顧問> <編集委員>

越智隆弘	糸満盛憲
小野啓郎	荻野利彦
竹光義治	菊地臣一
守屋秀繁	黒坂昌弘
山室隆夫	清水克時
矢部 裕	高岸憲二
	富田勝郎
	戸山芳昭
	吉川秀樹

<編集同人>

井形高明	澤村誠志
生田義和	杉岡洋一
井樋栄二	田辺剛造
岩田 久	田畑四郎
岩本幸英	玉置哲也
大井利夫	中村耕三
小野村敏信	馬場久敏
加藤博之	浜西千秋
金田清志	廣谷速人
黒川高秀	佛淵孝夫
腰野富久	三笠元彦
紺野慎一	三浦隆行
櫛田喜三郎	持田讓治
酒 匂 崇	山田治基
桜井 実	吉川靖三

ちょうど桜が満開になった。なぜだか今年は全国に先駆けて東京と静岡で開花し、西日本に広がるという変わった現象が起きている。この時期、卒業式、入学式と大学では多忙な時期であり、病院では退職者が出る一方、新しい研修医が入ってくる季節で、入局者が増えた、減ったという話題でにぎやかになって、悲喜こもごもである。

報道では「産婦人科や小児科医が足りない」というニュースのみが強調され、全体の医師数が不足していることは故意に伏せられているように思われる。新研修システムが始まって以来、全体の医師不足に加えて後期研修医の外科系離れが顕著になり、整形外科入局者も減少傾向にある。外科系はいわゆる 3K 職場ということらしい。半日もあれば仕事が終わる精神科と、早朝から深夜まで術前術後の患者管理に追われ、緊急手術などで一睡もできていない状態でも翌日の仕事をせざるをえない外科系各科の医師と比べると、同じ給料でアルバイトし放題の楽な科に流れてしまう。入局者が減ると当然医師一人当たりの仕事量は増えるわけで、ますますストレスフルな環境になっていくといった悪循環になる。実に困った現象が起きている。

病院では医師の勤務表はない。医師が出勤、退勤のタイムカードを入力すると経営が破綻するといわれる。これは、医師の過重労働は当然のことであり、その暗黙の了解の下で日本の医療が成り立っていることを意味している。私が勤務する病院でも、各科の外來収入や手術件数、入院収入などの統計が前年度と比較したデータとして毎月出される。経営側、主に事務方の意向は、これを参考にしてもっと稼げと尻をたたくことにある。彼らとしては自分達の食い扶持を稼いでくれる医師を馬車馬のごとく働かせるのが仕事だから当然である。このような詳細なデータは、高収入を上げている部門にはインセンティブを与えるための資料として使うことを提案しているが、受け入れてはもらえない。外科系各科のやる気を鼓舞することによって、病院の医療収入のさらなる増加につながり、外科系を目指す後進を増やすための方策の一つにもなりうると思うのであるが……。外国にはこのような制度を取り入れて大成功しているところもある。参考にするべきであろう。

この号の誌上シンポジウムは「手・肘関節鏡視下手術の現状と展望」である。あらゆる手術療法が低侵襲でかつ早期の運動訓練に耐える方法へと向かっているなかで、時期を得たテーマである。また新しい疾患概念である線維筋痛症と chronic widespread pain についての論文も興味のあるところである。

初夏の陽気の中で本号を一読していただければ幸いです。

(糸満盛憲)

臨床整形外科 (第 43 巻 第 5 号)

2008 年 5 月 25 日発行(毎月 1 回 25 日発行)

定価 2,520 円(本体 2,400 円+税 5%)

2008 年ぎめ予約購読料 29,400 円
(配送料弊社負担)

E-mail rinseige@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinseige>

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 編集室直通 (03)3817-5702(担当:石井・山崎)

販売部直通 (03)3817-5659・5660

ファクシミリ (03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷(株)

電話 (03)3637-0005

広告申込所 (株)医薬広告社

電話 (03)3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 2008, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・ JCS<(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の承諾を得てください。